

問 山元土場の
運用方法は

答 豊富な
森林資源を活用



山元土場整備予定地



にじいろ園

一般 質問



大崎公孝議員

大崎 林業振興は山林所有者や自伐林家など底辺の広がりが必要である。どのように山主への還元につなげていくのか。

また、土場の残余の土地で木質バイオマス事業を展開するつもりはないか。

町長

本町には約1万haの人工林があり豊富な森林資源が

眠っている。優良A材の出荷はもとより、林地残材のB材C材D材の活用が課題である。バイオマスエネルギーを熱エネルギーとし、町内の公共施設で活用するなどの調査を実施し、経済を含めた循環システムを構築し、より山主への還元を主体とした林業振興策をつくり上げたい。

大崎

本町の子ども子育て支援の中核施設の建設効果や現況の問題点は。

町長

一つの教育方針のもとで幅広い年層が一施設に集っており、幼児教育への効果がアップしている。また有

問 幼保一元化施設の
建設効果は

答 幼児教育への効果アップ

資格者を確保し子ども園そのもののレベルアップを図っていきたい。

大崎

現況で子どもを預けていても妊婦届けを提出した場合、産後2ヶ月で家庭保育ができるという取り扱いとなり、入園継続が不可となる。子育て支援を池田町政の重要施策とするならば希望者には継続して保育すべきだと思いがどうか。

教育長

一定の基準はあるが保護者の思いも受け止めながら柔軟に対応する。

町長

津野町は独自の子育て支援を行っているところであり、当然ながらそれに見合うものについては積極的に支援をしていきたい。